

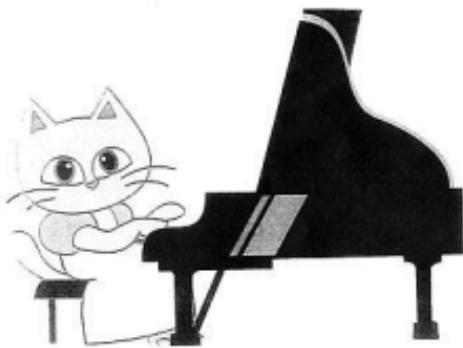
敬老祝賀会歌集



知床旅情

①知床の岬にはまなすの咲く頃
思い出しておくれ俺たちのことを
飲んで騒いで丘に登れば
遙か国後に白夜は明ける

②旅の情けか酔うほどにさまよい
浜に出てみれば月は照る波の上
今宵こそ君を抱きしめんと
岩陰によればピリカが笑う



四季の歌

①春を愛する人は 心清き人
スミレの花のような
ぼくの友だち

②夏を愛する人は 心強き人
岩をくだく波のような
ぼくの父親

③秋を愛する人 心深き人
愛を語るハイネのような
ぼくの恋人

④冬を愛する人は 心広き人
根雪をとかす大地のような
ぼくの母親

明日があるさ

①いつもの駅でいつも逢う

セーラー服のお下げ髪

もう来る頃 もう来る頃

今日も待ちぼうけ

明日がある 明日がある

明日が あるさ

②ぬれてるあの娘 コウモリへ

さそってあげよと 待つている

声かけよう 声かけよう

だまつて 見てる僕

明日がある 明日がある

明日があるさ

③明日があるさ 明日がある

若い僕には 夢がある

いつかきっと いつかきっと

わかつてくれるだろ

明日がある 明日がある

明日があるさ

ふるさと

①兎追いし かの山

小鮎釣りし かの川

夢は今もめぐりて

忘れがたき ふるさと

②如何にいます父母

恙なしや 友がき

雨に風に つけても

思いいづる ふるさと

③こころざしをはたして

いつの日にか 帰らん

山はあおきふるさと

水は清きふるさと